ビジュアル監視マニュアル

口グ管理

- 1ログ機能の概要
- 2 イベントログ
- 3 監視ログ
- 4 プロットログ
- 5 Webエラーログ
- 6ログの削除

1ログ機能の概要

1.1 ログの種類と存在場所

〇 イベントログ

概要: 監視で発生するイベントを記録

場所: mysqlデータベース eventlogテーブル

〇 トレースログ

概要: 監視アプリの実行を追跡する場合、または重大なハード・ソフト障害時に記録

場所: <vpath_kanshi>/logs/kanshi_yymmdd.log

O PLOThレースログ

概要: Gnuplotアプリの実行を追跡する場合に記録

場所: <vpath_plothome>/logs/plot_yymmdd.log

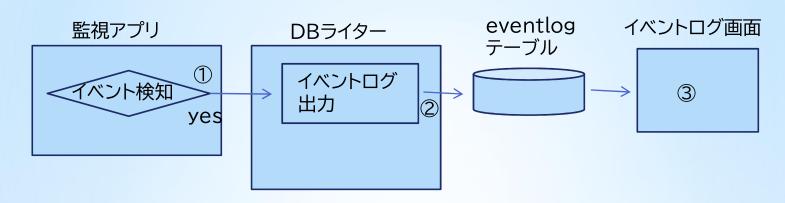
O Webエラーログ

概要: Webサーバのエラー記録

場所: <vpath_weblog>/error_yyyymmdd.log

2 イベントログ

2.1 イベントログの仕組み



- ①PHP監視アプリでイベントを検知したら、DBライターへ出力依頼を発行
- ②DBライターはeventlogテーブルへ依頼されたログを書く
- ③イベントログ画面を任意に起動して、ログの内容を監視・管理する

2 イベントログ

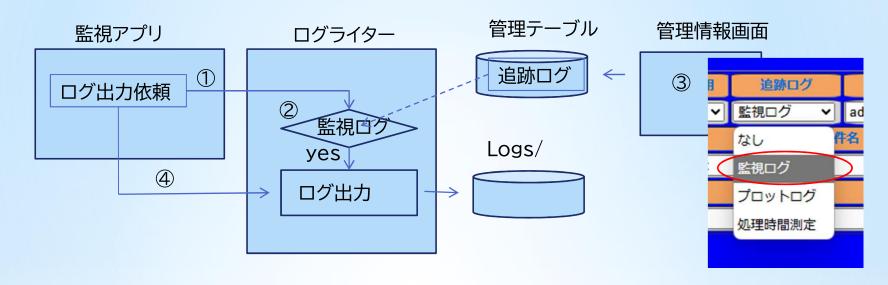
2.2 イベントログの表示

○ イベントログの表示 表示メニューの「イベントログ」をクリック、120秒でリフレッシュ



3トレースログ

3.1 トレースログの仕組み



- ①PHP監視アプリがログ出力依頼の"writelogd"を発行
- ②ログライターは管理テーブルの追跡ログを読み、必要ならlogsヘログを書く
- ③管理テーブルの追跡ログは管理情報画面から任意に変更できる
- ④出力依頼が"writeloge"の時、ログライターは追跡ログを判定しない

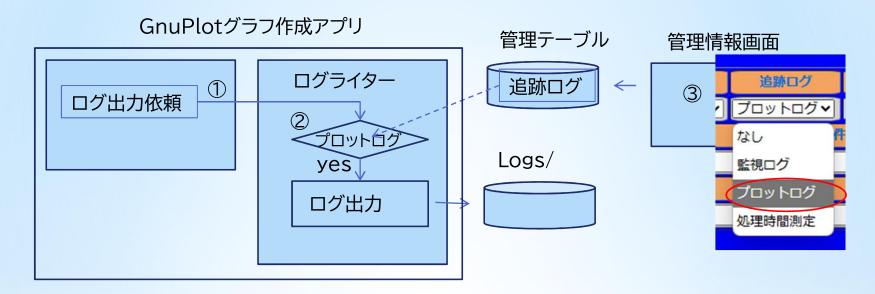
4トレースログ

3.2 トレースログの表示



4 プロットログ

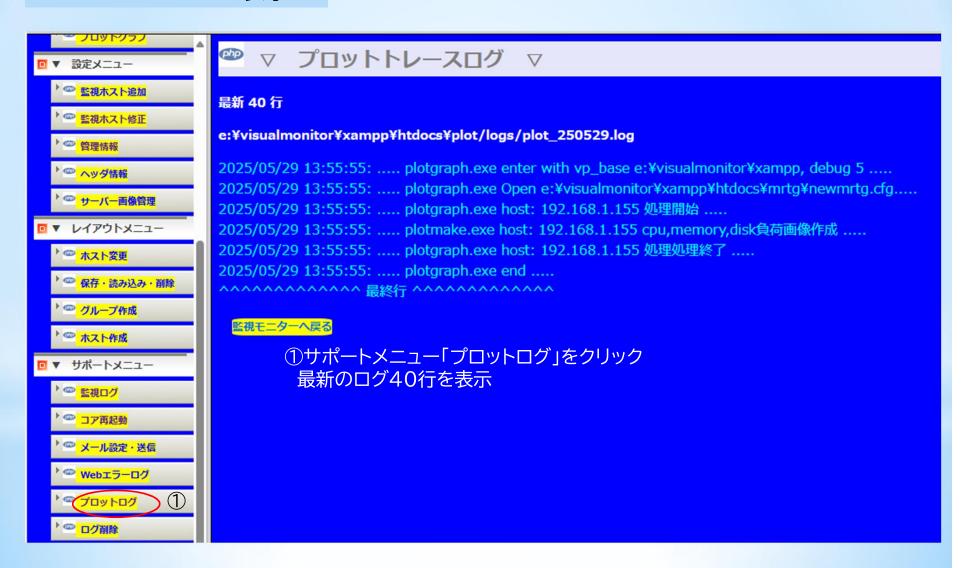
4.1 プロットログの仕組み



- ①GnuPlotグラフ作成アプリがログ出力依頼を発行
- ②ログライターは管理テーブルの追跡ログを読み、必要ならlogsへログを書く
- ③管理テーブルの追跡ログは管理情報画面から任意に変更できる

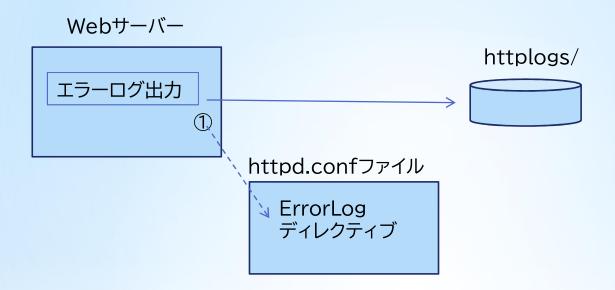
4 プロットログ

4.2 プロットログの表示



5 Webエラーログ

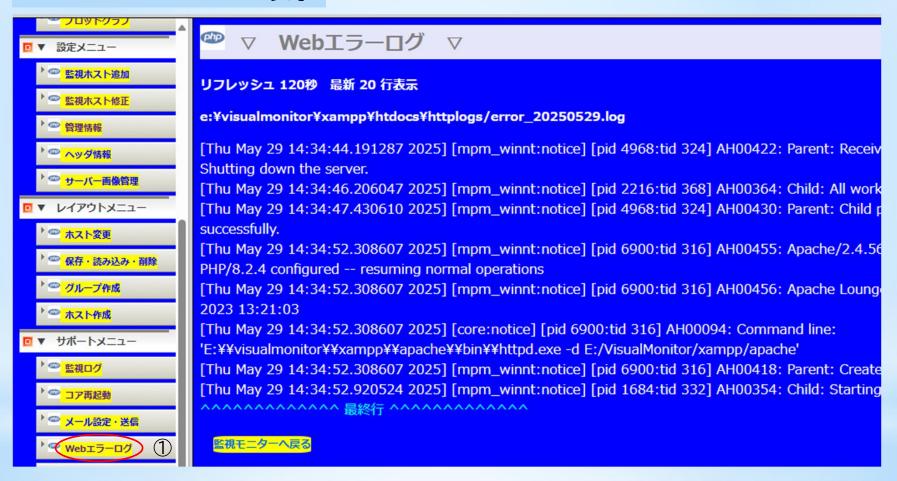
5.1 Webエラーログの仕組み



①Webサーバーはhttpd.confのErrorLog指定に従いログを出力する

5 Webエラーログ

5.2 Webエラーログの表示

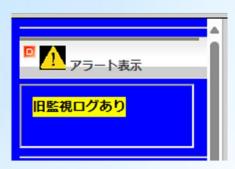


①サポートメニュー「Webエラーログ」でログを表示、このログには、 PHPプログラミングエラーなどの情報も記録される

6 ログの削除

- 6.1 削除できるログ
 - 〇 監視ログ
 - O Webエラーログ
 - 〇 プロットログ
 - 〇 イベントログ

削除されるログは、当日以前の日時のログを全て削除する削除対象ログは、メニュー上部のアラート表示に現れる



6 ログの削除

6.2 ログの削除

